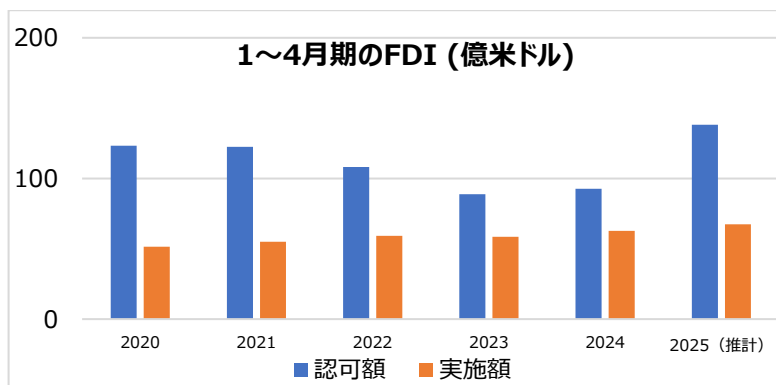


## <ベトナム・リサーチ・レポート>

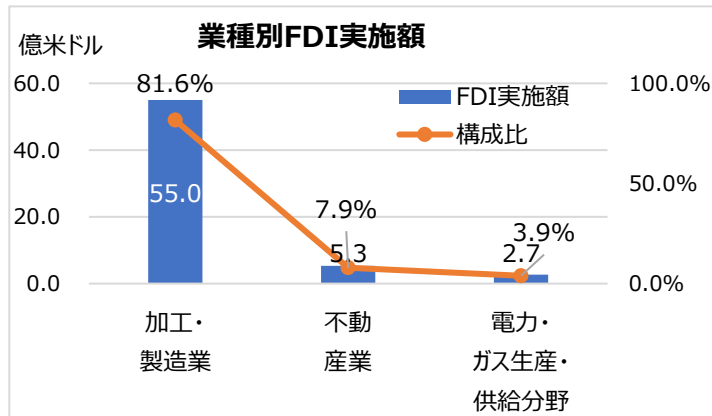
情報提供用資料

2025 年 6 月 2 日

### 2025 年 1～4 月期の FDI 認可額は約 40%増加



2025 年 1～4 月期の FDI 実施額は約 67.4 億米ドルと推定されている。これは前年同期比 7.3%増であり、過去 6 年間で最高となった。これを業種別に捉えると、加工・製造業における実施額が約 55 億米ドル(全体の 8 割強)となり、集中していた。次いで不動産業が約 5.3 億米ドル、電力・ガス生産・供給分野が約 2.7 億米ドルなどとなっている。



出所：ベトナム国家統計局(NSO)

米国の貿易政策の不確実さにもかかわらずベトナムへの FDI は成長軌道を維持している。インフラ整備や優遇政策を通じて、ベトナム政府が外国からの投資を積極的に誘致していることがその背景だといえる。外国の投資家側にもベトナムのビジネス環境と成長力への信頼があり、米国との相互関税問題を悪くない方向で解決に導くことに対するベトナム政府への期待があることも考えられる。

FDI 誘致を地域別に捉えると、ベトナム北部で韓国サムスンの工場があるバクニン省が FDI 新規認可額約 6.2 億米ドル(構成比 11.1%)で首位に躍り出た。第 2 位は港湾都市であるハイフォン市(5.87 億米ドル)であった。従来上位に位置していたホーチミン市は第 5 位に後退した。この動きは、工業団地のインフラが整備され、ハイテク資本の受け入れ能力を備えた地域が好まれている傾向を反映している。

以上

#### 免責事項

当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社 (CAM) が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。